

日本共産党 三鷹市議会議員



森 徹ホットライン

もり とおる

上連雀・井口・深大寺・野崎・大沢地域日本共産党後援会ニュース

連絡先 : 上連雀 5-28-10

電話・Fax : 46-6158

ホームページ

<http://www.mori-t.jp>

メール : info@mori-t.jp



森 徹 市議 2月25日の市議会で質問 市として回送バスの営業運行の復活にとりくむよう求めました

寒い季節、夏の猛暑、バスを待つ高齢者の前を素通りする 回送バスの運行は1日も早い改善が求められます。



議会で
質問する
森 徹 議員。



今日も
多くの回
送バスが
走ってい
きます。

森 徹 市議の質問

車を運転できない高齢者にとって、病院通いや買い物など日常生活にバスは大切な移動手段であり、小田急バスは暮らしのためにはなくてはならない公共交通となっています。三鷹市は小田急バスとの話し合いをおこない、その解決に努力することを求めます。

回送バスを元の営業運行にもどす署名運動には市民のみなさんの大きな期待が寄せられました。そのなかで、バス路線に対する改善要望とともに、交通不便地域の解消など、新たな要求も寄せられています。回送バスの解決とあわせ、高齢者の日常生活の支援と交通不便地域の解消に対する市長の考えをお聞かせください。

市長の答弁

小田急バスに対し、回送バスを営業運行するよう、ねばりづよく交渉します。

副市長の答弁

市民の足の利便性を確保するという点については、森議員の考えを共有しています。努力していきたい。

病院通院のとき、なんと7台の回送バスが通り過ぎました (84歳の女性)

昨年11月に中央病院の診察が済み、松崎整形外科へ行くため、三鷹行バスを待っていたら、なんと7台もの回送バスが通過し、足が痛いし、悲しくなっていました。

でも歩くのがたいへんなので待ちました。やっとバスがきたら、たいへんな混雑で立っているのがやっとでした。カラのバスの通過は非人情で、またムダなことと思います。

森 市議と小田急バスとの話し合いでの
小田急バス・鈴木課長の回答
現在、改善にむけ社内で検討に入っている。労働時間の問題など、労使の協議も必要。もう少し時間がほしい

東京都知事選挙（3月24日 告示、4月10日 投票）

小池あきらさんが「革新都政をつくる会」からの要請を受け、
無所属での出馬を表明をしました



小池 あきらさんのプロフィール

1960年6月9日生まれ（ふたご座）、
血液型はO型。

- 家族は、妻と小学1年生の息子。
- 住まいは、品川区。
- 趣味は、映画・演劇鑑賞。
- 好きな食べ物は、みんなで食べるごはん。

一般会計4%の使い方を変えると こんなことが

- 75歳以上の医療費無料化
- 4年間で1万5千人分の特養ホーム
- 4年間で2万人分の認可保育園
- 都営住宅を年間2千戸
- 国保料の引き下げ
- 私立高校も含めた授業料無償化
- 住宅リフォーム助成制度

東京をこう変えます

新しい福祉都市

暮らしを守る力を発揮

「何が大切かといえば、まず福祉」。小池さんの訴えが聴衆の共感を呼びました。

「石原慎太郎知事は『何が贅沢かといえば、まず福祉』と言い放って12年間、都民の暮らしや雇用を支える施策を切り捨ててきました。老人福祉費も教育費もいまや全国最下位（歳出比）です。都が実施したアンケートでも生活に余裕がない」と答えた人が半数を超えています。

暮らしを支えるために政治は何ができるでしょうか。「都の予算は十二兆円で、韓国の国家予算に匹敵する財政力があります。都政が都民の方に向けば、大きな力を発揮できます。」と小池さん。

巨大開発ストップ

財政のムダをなくす

石原知事のもとで、いま東京都では異常事態が起きています。ほかの全道府県が大型開発などの「投資的経費」の予算を減らしているのに、東京だけが7年連続で増やしつづけています。さらに重大なのは、2011年度からの3カ年計画「『10年後の東京』への実行プログラム2011」（総事業費1兆9500億円）。事業費の4割にあたる約8千億円ものお金が「三環状道路（圏央道、外環道、中央環状）で東京が生まれ変わる」という名目で道路にとどまらず港湾建設にまで投じられようとしています。「これでは巨大開発で東京の財政が破壊されてしまう」。小池さんは福祉都市に転換してこそ、暮らしも景気も都の財政も立て直せると力を込めて訴えました。

二月二三日 都内の演説会で

小池あきら 候補が提案しました